

不適切な会計処理の疑い及び 2021年12月期第3四半期決算発表延期 に関するFAQ

2021年11月15日

株式会社アウトソーシング
証券コード：2427 (東証1部)

FAQ

No.	質問	回答
1	発端となったアネブル社の仕掛品の過大計上とは具体的にどういったものですか？	アネブル社は、国内技術系セグメントに属する連結子会社であり、輸送用機器向けのエンジンベンチテストや部品試作等を行っております。 仕掛品の過大計上は、部品試作品を売上収益に計上した際に、同収益に対応すべき費用を仕掛品から原価に振り替えるべきところ、その一部が費用計上されずに仕掛品のまま残存していたものであります。
2	調査委員会とはどのようなものですか？委員会の構成メンバーを教えてください。	専門性を確保しつつ客観性・公正性を担保するため、当社と利害関係を有しない外部の弁護士・公認会計士を調査委員として招き入れました。当社の監査等委員より委嘱した弁護士2名と会計士1名により構成しております。
3	アウトソーシングテクノロジー社とアネブル社の関係は？両社はどのような関係性にあるのですか？	当社の完全子会社であるアウトソーシングテクノロジーの子会社の一つがアネブル社です。アネブル社は当社から見て孫会社です。
4	それらは各子会社の個人の犯行か、それとも会社ぐるみでしょうか？	現在、経緯を含めて調査中でございます。調査結果が判明次第、必要に応じて公表いたします。
5	アウトソーシングテクノロジー社は何をしている会社ですか？業績規模は？	アウトソーシングテクノロジー社は、国内技術系アウトソーシング事業セグメントの中核グループ会社です。主にエンジニアの人材派遣や請負を手掛けています。2020年度の業績は売上高729億円、経常利益68億円、純利益45億円(いずれも日本会計基準)です。
6	アネブル社は何をしている会社ですか？業績規模は？	アネブル社は、自動車関連の研究開発分野のアウトソーシングを担っています。主にエンジン試験受託、ほかにも車両改造・試作車両開発、試作品・治具製作、試験装置開発、海外情報・部品調達、プロフェッショナル派遣事業を展開しています。 2020年度の業績は売上高約36億円、営業利益約2億円(いずれも日本会計基準)です。

※本資料は、2021年11月5日に公表いたしました「連結子会社における不適切な会計処理の疑い及び2021年12月期第3四半期決算発表の延期に関するお知らせ」並びに、同年11月15日に公表いたしました「2021年12月期第3四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出に関するお知らせ」の内容理解の補助のために作成されたものであり、詳細はプレスリリースをご参照ください。

FAQ

No.	質問	回答
7	なぜ不適切な会計処理をしたのですか？	詳細は現在調査中であり、最終調査結果が出た段階で原因についてもご説明できると考えております。
8	粉飾決算があったということですか？	現在、経緯等を含め、詳細を調査中でございます。調査結果が判明次第、必要に応じて公表いたします。
9	決算発表はいつになりますか？	延長後の提出期限であります2021年12月28日までに、2021年12月期第3四半期報告書の提出及び2021年12月期第3四半期決算短信の公表を行う予定であります。
10	<ul style="list-style-type: none">・決算に影響を与える最終の金額が判明するのは、いつですか？・業績に与える影響金額は何億円ですか？・今後影響が広がっていく可能性があるのでは？	最終調査結果で判明するものの、現時点ではプレスリリースに記載されているとおり、影響額は数億円の範囲であると見込んでおります。今後公表すべき事案が発生した場合は速やかにお知らせいたします。これらの見込みは当社において見込んだ本日現在におけるものであり、本件調査の結果によっては、本件不適切会計が当社の当事業年度の連結業績に及ぼす影響額がより大きくなる可能性がある点にご留意ください。
11	<ul style="list-style-type: none">・なぜ12月28日までかかるのですか？・どんな調査をしているのですか？・30日延長で済まない理由を教えてください。	<p>調査を進める中で、過年度におきましても、上記同様の過大計上その他、アネブル以外の国内技術系セグメントに属する連結子会社における収益の過大、費用の過小計上の疑いが生じ、合わせて調査を行っております。</p> <p>本件調査委員会は、調査範囲を当社にも拡大してより深度のある調査を行っており、現時点において本件調査が継続している状況から、法令に定める提出期限までに当第3四半期報告書の提出は困難であるとの判断に至り、提出期限延長の承認申請を行うことといたしました。</p>

※本資料は、2021年11月5日に公表いたしました「連結子会社における不適切な会計処理の疑い及び2021年12月期第3四半期決算発表の延期に関するお知らせ」並びに、同年11月15日に公表いたしました「2021年12月期第3四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出に関するお知らせ」の内容理解の補助のために作成されたものであり、詳細はプレスリリースをご参照ください。

FAQ

No.	質問	回答
12	足もとの事業環境はどのような状況ですか？	新型コロナウイルス感染症に対するワクチン普及により、人材サービス業界全般の概況として、復調の兆しにあります。一方、自動車産業をはじめ、世界規模の半導体不足による一時的な生産停止等の影響を受けております。
13	中期経営計画に影響は及ぶのでしょうか？	現時点においては、本件が与える中期経営計画への影響は限定的であると会社は判断しております。引き続き中期経営計画達成に向け、できる限り努力をしております。
14	アウトソーシングテクノロジーの上場申請取り下げによる、業績への影響は？	業績等への影響がある場合には、判明次第お知らせさせていただきます。
15	子会社上場が延期になって財務への影響はどのようなのでしょうか。エクイティ・ファイナンスがあるのですか？	財務への影響は、子会社上場によって、一定程度の資金調達を見込んでいたため、今後の資金計画の見直しは必要となるものの、コベナンツ抵触のリスクはないものと考えております。 従いまして、足もとでは当社のエクイティ・ファイナンスは考えておりません。引き続き、総合的に検討してまいります。
16	子会社上場が延期になって、M&A戦略に影響はありますか？	M&A戦略そのものの変更方針はありませんが、財務面への影響を考慮しながら総合的な判断を行ったうえで推進してまいります。
17	今後のグループガバナンスの取組についての考えは？	再発防止策にとどまらず、今まで以上にグループガバナンスに取り組み、投資家の皆様に安心して投資して頂ける企業にしていきたいと考えております。グローバルガバナンスポリシーに基づき各社ごとに監査項目を設定しております。この監査を強化してまいります。 具体的な体制につきましては、調査がすべて終了した段階で今後の対応策を検討する所存です。

※本資料は、2021年11月5日に公表いたしました「連結子会社における不適切な会計処理の疑い及び2021年12月期第3四半期決算発表の延期に関するお知らせ」並びに、同年11月15日に公表いたしました「2021年12月期第3四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出に関するお知らせ」の内容理解の補助のために作成されたものであり、詳細はプレスリリースをご参照ください。

本資料の取り扱いについて

本資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。

従いまして、実際の業績等は今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、その内容は事前の通知なく変更されることがあります。

本件不適切会計処理の規模は、当社において見込んだ本資料の作成時点におけるものであり、本件調査の結果によっては、本件不適切会計が当社の当事業年度の連結業績に及ぼす影響額がより大きくなる可能性がある点にご留意ください。

お問い合わせ

株式会社アウトソーシング

TEL: 03-3286-4888

E-Mail: os-ir@outsourcing.co.jp

URL: <https://www.outsourcing.co.jp>

IRお問合せ: <https://www.outsourcing.co.jp/ir/contactus/>